

～会社の将来を担うエース達～

前田健汰 入社7年目 札幌工科専門学校卒（2017）

（第6グループ 一般測量・3次元計測） 測量士・主任

入社のきっかけ

専門学校の担任の先生に紹介され説明会を受けたところ、MMSでのレーザー測量や、構造物変位測定など私の知らない測量を行っているというところに興味を持ち、実際に私自身が経験してみたいと思ったのがきっかけです。

入社後学んだこと

私の所属しているグループの業務である、構造物変位測定はもちろんですが、他グループの業務の手伝い、電話応対、礼儀、環境整備等を教えてもらい、社会人の基礎となるところを一から学びました。

仕事のやりがい

私のやりがいは、現場に行き測量をしてとってきたデータをまとめて、より良い成果品を作っていく、お客様に喜んでいただくことです。皆様も自分のやりがいを一緒に見つけてみませんか？

社会人一年目を終えて

社会人一年目は上司や先輩から与えられた仕事をこなすことが多いです。ですが、その中でも自分で課題を見つけて解決する能力を身につけていく必要があると思います。ただただ仕事をするのではなく、自分自身で考えて行動するスキルを二年目からは磨いていきたいと思っています。



吉田昌史 入社7年目 中途採用（2017）

（第3グループ 3次元計測・地中線測量・一般測量）
測量士補・DJI スペシャリスト・主任

入社して感じた事

私が入社してから感じた事は「1日の早さ」と「わからないことを聞く大事さ」です。

入社前は事務所内でのパソコンでの作業が多そうで1日が長く感じそうだなと思っていましたが、やったことが無いものばかりで学ぶことが多く、イメージしていたよりもかなり時間の流れが早く感じました。

現場作業でも、事務作業でも覚えることが多く上司に聞きながら作業をしているといつのまにか定時になっているということもあります。

それだけ充実しているんだなーと感じました。

もうひとつのわからない事を聞く大事さですが、聞くだけでは駄目です。

わからない事を聞くだけでは、その場の問題が解決するだけで

次に似たような問題が起きたときに対処できない可能性があります。

それはどうすればいいのか、何でそうなるのかをちゃんと理解することで、他の場合でも対処できます。

ですので、聞いたことはしっかり理解をして自分のものにすることが大事だと思いました。

今後の目標

今後は今まで出来なかったことを少しでも多く出来るように日々勉強しながらやっていきます。



田中滉一郎 入社7年目 札幌工業高等学校（2017）

測量士 ※専門学校編入にて取得 ・副主任

（第3グループ 地中線測量・一般測量・3次元計測）

2019.4～札幌工科専門学校 企業委託生として就学



入社した経緯

インターンシップで当社に初めて来た時、今まで見たことのないMMS車両（モビリティマッピングシステム）などのレーザースキャナーを見て興味を持ちました。高校の授業ではTS（トータルステーション）しか使ったことがないので、私もレーザースキャナーを使ってみたいと思ったのがきっかけです。

仕事のやりがい

私は地中線測量をメインで仕事をしています。地中線測量とは、送電線を地中に埋設するために、他の埋設物（下水や上水等）を調べ、どこだったら新しく埋設できるか検討するための図面を作成する仕事です。街中だとやはり埋設物が多くなるので、図面作成はとても大変ですが、完成したときはとても達成感があり、やりがいを感じます。

企業委託生としての通学とその後の業務への応用

入社3年目の時に企業委託生として札幌工科専門学校の測量情報課へ入学し勉強をさせてもらいました。測量について幅広く教えてもらえるのですが、特に勉強になったのは、仕事でも応用が利く、基準点測量と水準測量です。札幌工業高校でも基準点と水準については学びましたが、実際に2年間実務を経験した後に受ける授業はより理解が深まり、大変勉強となりました。最近の機械は自動で基準点などの観測をしてくれるので、誰でも簡単に操作することができます。しかし、何かトラブルがあった際に柔軟な対応ができるのは、基礎知識がある人です。トラブル発生時に対応できるか否かで、その後の工程が大きく変わってきます。そういった知識を学ぶことができたので良かったと思います。

今後の目標

学校を卒業すると測量士補の資格が取得でき、その後の実務経験で国家資格である測量士登録申請が可能となります。資格を取得すると公共測量という市町村発注の業務を担当することができます。

無事、測量士として認定されましたので、業務の裾野を広げ、公共測量にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

沢田 大輔 入社5年目 札幌工業高等学校（2019）

（第6グループ 構造物変位点検・計測）



入社したきっかけ

私は、高校の授業で、土木科の先生に当社について教えてもらい、知りました。自分自身も、手に職のある仕事をしたいと思い、そして、ドローン等の三次元を使用した測量を高校で見せてもらい、興味を持ったことがきっかけで入社しました。

本州での業務について

当社は、東京に支店があります。本州での仕事は、東京都内から東北、関西、九州地方と、さまざまな場所に行きます。

私が、印象に残っている現場では、東北と九州の仕事です。東北では、鉄塔の部材を運ぶための林道などの測量をしました。九州では、五島列島に行きました。作業は、ソーラーパネルの設置のため、敷地の測量をしました。私が、普段道内で行く現場や、東北の現場などでは、山に行くことが多いです。そのため、島での測量は、今後、行けるかわからない場所でしたので、良い経験が出来たと思います。

入社後の経験と成果について

入社してから、色々な測量を経験してきました。基準点測量、地中線の杭打ち作業、三次元の機材を使った建物や道路の測量、構造物変位測定などです。

私が、今、一番携わっている測量は、構造物変位測定です。この測量では、現地で構造物を測定して、安全の有無を調べます。現地での測定後、計算してお客様に提出する成果品を作成します。私は、現地での測量と計算まで出来る様になりました。

今後の目標

私の今後の目標は、測量士補合格と構造物変位測定の中の一つの現場を任せてもらうことです。

測量士補は、会社負担で添削講座を受けさせて頂いています。添削講座で、しっかり勉強して、試験に合格出来る様に頑張ります。

変位測定は、まだまだ覚えなければならないことが多いと自負しております。まずは、成果品作成を任せてもらえるよう、しっかりやり、今後は、現場代理人を任せてもらえるまで成長します。

渡会 悠貴 入社4年目 札幌工業高等学校（2020）

測量士補※専門学校編入にて取得

（第3グループ 地中線測量・一般測量・3次元計測）

2021.4～札幌工科専門学校 企業委託生として就学

▷入社した経緯

私が高校生の時の出前授業で「測量」について教えていただき、興味を持ち始めたのがきっかけです。見たことのない器械がたくさんあり、どのようなことに活かされているのかを深く知りたいと思い入社しました。

▷仕事のやりがい

私の仕事のやりがいは実際に現場に行き、成果品を作成したときに上司から「お客様が成果品を見て喜んでいた。」などの言葉を聞いたときにやりがいを感じます。私はまだ成果品をお客様の元へ届けに行ったことがないので、いつかはお客様の元へ成果品を提出しに行き、喜んでいただけるように努力していきたいです。

▷企業委託生としての通学とその後の業務への応用

企業委託生として1年間専門学校に行き測量の勉強をしました。会社では部分的に外業や内業に取り組んでいたため、作業していることが何に繋がるのか理解していませんでしたが、学校に通ったことにより測量を1から学ぶことが出来たので何となくではありますが今まで仕事をしてきたことが何に繋がるのかを理解することが出来ました。まだ分からないことが多いですし、今後分からないことも増えていくかと思います。分からないところを1つずつ解決させることで私自身の成長に繋がると思うので学校で学んだことの復習は続けていき、仕事で活かせるよう努力していきたいと思います。

▷今後の目標

今までは部分的な作業が多かったため理解していないところがたくさんあったので今後は業務の目的を明確にし、一連の流れを理解して仕事に取り組んでいきたいと思います。また今までは上司や先輩からお願いされた作業をしていましたが、業務を担当することになると「何をしないといけないか」は自分で考える必要があると思います。常に「何をしないといけないか」を考えながら仕事に取り組んでいきたいと思いました。



小貫 豊 入社2年目 札幌工業高等学校（2022）

（第1グループ 電力系測量・保守 3次元計測等）

2023.4～札幌工科専門学校 企業委託生として就学

入社した経緯

高校の担任の先生に紹介されて自分で調べてみたところ、MMS 測量などの新しい技術を取り入れていることに興味を持ち、私もやってみたいと思ったのがきっかけです。

学生と社会人の違い

学生と社会人の違いは責任感だと思います。学生はミスをしたとしても基本的には自分だけの責任ですが、社会人はミスをしてしまうとお客様の信用がなくなってしまいますし、その後の仕事が発注されなくなってしまう可能性があり、会社全体に迷惑が掛けてしまうからです。

企業委託生として通学するにあたって

企業委託生として学校に行かせていただくので、資格を取れるように努力すること、基本的な測量技術や知識をしっかりと身に付けていきたいと思っています。

今後の目標

測量士補の資格を取れるように勉強し、今まで教わってきたことの技術を磨いていくのと、外業や内業の色々な仕事ができるように、これからも努力していきたいと思っています。

